

図書館装備支援システム



本屋ツール

インストールマニュアル

2017/9/30



こどもを、みらいを、考える。

教育システム

<http://www.gakkou.jp>

目次

動作運用環境	4
対応 OS	4
ローカルコンピュータでの権限について	4
ディスプレイ	5
プリンター	5
バーコードリーダー	5
ネットワーク	5
バックアップ装置	6
UAC 等無効化について	6
情報 BOX との併用について	8
セットアップと起動	8
新規インストール	8
学校数が 40 校を越える場合	10
旧本屋ツールからのデータコンバート	11
インストールの確認	12
インストール後設定	12
ログイン画面	12
運行管理プログラム	14
自動起動について	15

バックアップファイル自動転送について	15
バックアップファイルの自動転送ルール	16
削除されるファイルのルール	16
本屋ツールのアンインストール	17
本屋ツールの操作マニュアルについて	17
お問い合わせ先	18

インストールガイド

動作運用環境

対応 OS

Windows VISTA, Windows 7, Windows8 各シリーズ, Windows10

Windows 2008 Server, Windows 2008 Server R2,

Windows 2012 Server, Windows 2012 Server R2

最新情報は弊社 web サイトでご確認ください。

<http://www.gakkou.jp/>

ローカルコンピュータでの権限について

1. インストール時

管理者権限がなければインストールできません。(ドメイン管理者ではなくローカル管理者です。)

2. 自動バージョンアップ

管理者権限、制限ユーザーどちらでも運用可能です。

高度なセキュリティを施した場合は、制限ユーザーで運用できない場合もあります。高度なセキュリティの環境下でお使いの場合はコンピュータのセキュリティ管理者にご相談ください。

3. 本屋ツール操作

管理者権限、制限ユーザーいずれでも動作しますが、管理者権限での運用を Microsoft も推奨しております。また、インストールフォルダへの書き込み権限が必須となるのでご注意ください。

4. 自動バックアップ

本屋ツールでは自動バックアップ機能が設定できます。本屋ツールランチャから設定してください。この場合は「保存先のディレクトリ」に書き込み制限が必要です。ネットワークドライブを利用するときは権限に特に注意してください。

ディスプレイ

1024×768（XGA）以上の解像度必須 256色以上の表示（小さいフォント）で使用。

小さいフォント以外ではボタンの位置などがずれ、ご利用いただけません。

プリンター

Windows OS 対応の A4 以上が印刷可能なプリンター。

バーコードラベルの印字にはレーザープリンターまたは RICOH の GELJET プリンター（きれいモード）を推奨。一般的なインクジェットプリンターでバーコードを印字すると経年劣化で読み取りができなくなることがあります。

10 桁以上のバーコードをご利用頂く場合はバーコードの線が細くなり、読み取りが難しくなります。桁数が多い場合はレーザープリンターをお勧めします。

バーコード帯部分などがカラーで印字可能なため、カラープリンターを推奨します。

バーコードリーダー

キーボード（PS/2 等）、USB 接続

キーボードインターフェースで使用可能な機種

CODE39 および NW-7 読み取り可能なこと

バーコードラベル読み取り後、CR 付加設定を行うこと

NW7 スタートストップキャラクター 非送信設定

CODE39 スタート/ストップコード 非送信設定

ネットワーク

MARC ダウンロード、システムバージョンアップ機能を利用するにはインターネットの常時接続が必要です。

日書連 MARC 利用にはインターネット接続が必須です

※ インターネット接続は http 通信です。環境によって PROXY サーバーの設定が必要な場合があります。またコンテンツフィルタリング（有害ページ排除）設定により通信が出来ない場合があります。システム管理者にお問い合わせください。

バックアップ装置

50MB 以上保存可能な外部記憶装置必須（USB メモリーや HDD ドライブ等）または認証後のネットワークドライブ（UNC パス指定が可能で認証不要のこと）

UAC 等無効化について

Windows Vista 以降の OS に実装されているユーザー・アカウント制御（User Account Control 以下 UAC）は、ウイルスや不正な操作、操作ミスなどによって、管理者権限が必要なプログラムなどが自動的にシステムにインストールされてしまうのを防ぐための機能です。この機能は通常は望ましいものですが、操作の妨げになるメッセージが現れる場合が多く、また UAC のせいでシステムの操作や設定作業などに支障をきたす場合があるので、本システムでは無効にして運用する必要があります。

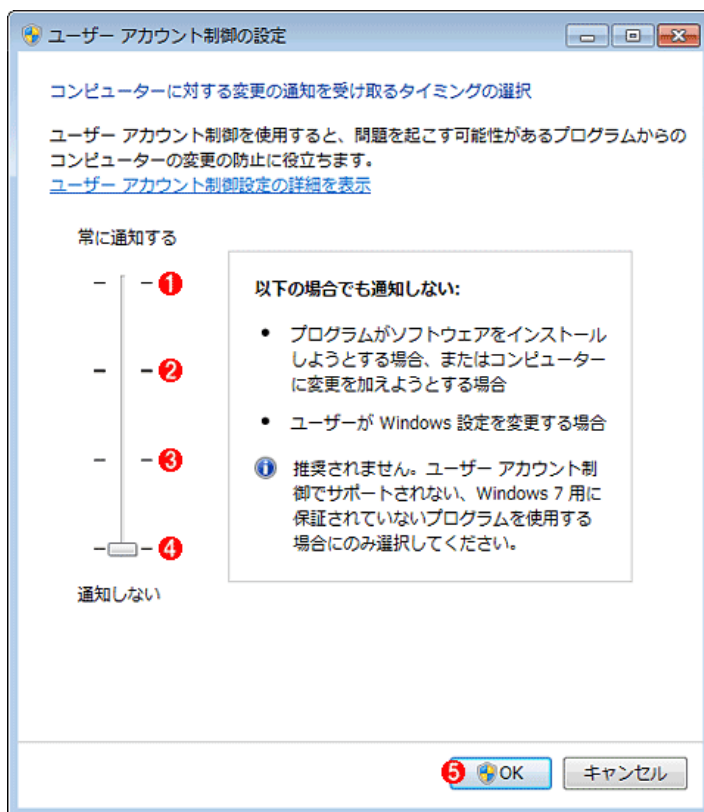
例) Windows 7 における UAC の無効化手順

管理者権限を持つユーザー・アカウントで Windows にログオンします。次に [コントロール パネル] で [ユーザー アカウント] アプレットを表示させます。

[ユーザー アカウントと家族のための安全設定] - [ユーザー アカウント]



この画面の一番下にある [ユーザー アカウント制御設定の変更] をクリックして設定を変更します。



UAC の設定ダイアログ・ボックス

UAC の設定には 4 段階あり、デフォルトでは Windows に含まれないプログラムに対してオン①になっています。完全に無効とするには、スライダのつまみを④まで下げます。OK⑤をクリックします。

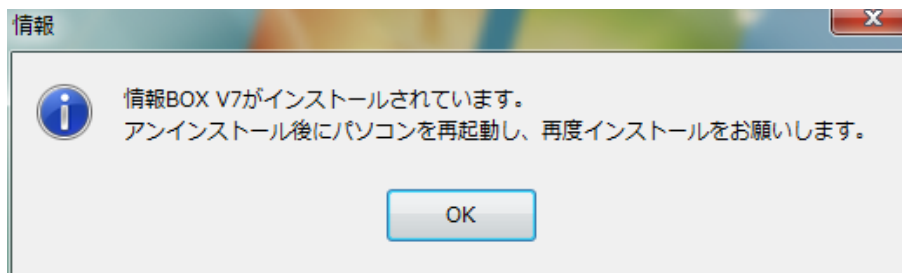
重要なご注意

- 瞬快等の環境復元ソフトが導入されている場合は必ずシステム管理者に事前に確認して、適切なユーザー、環境でソフトのインストールを行ってください。環境復元ソフトではインストールフォルダ（デフォルト値 c:\jbox）およびデータベースフォルダ（デフォルト値 c:\jbox\db\PostgreSQL9.5）では復元を行わないように設定してください。
- 必ずそのコンピュータの管理者権限をもつユーザー（ローカル管理者）でログオンしてください。
- 他に postgresSQL を利用したソフトがインストールされている場合はインストールできません。教育システム サポート窓口へご相談下さい。
- OS のアップデートが出来ていない PC ではインストールに失敗する場合があります。必ず Windows Update を行ってからインストールしてください。

情報 BOX との併用について

本屋ツールは、情報 BOX と同一 PC 上で、併用することができません。

お手数ですが併用される場合、別々の PC をご利用ください。



セットアップと起動

新規インストール

本屋ツールを起動するにはコンピュータにソフトをインストール（セットアップ）する必要があります。

ここではセットアップと接続テストの方法を解説したあと、本屋ツールを起動する方法について説明します。

正常にインストールできない場合、ほとんどの原因は、OS のバージョンとセキュリティパッチの問題です。コンピュータの動作環境及び UAC の無効設定を確認してください。

OS が不調な PC での運用は計画を変更して別の PC をご用意いただくか、Windows のクリーンインストール（HDD フォーマットまで）を行ってください。CPU 速度よりもクリーンな OS とメモリー増量が安定した動作の必要条件です。

CD-ROM ドライブに本屋 TOOL インストール CD を入れて開くと以下のフォルダの中に「本屋ツール」があります。

自動的に開かない場合は [コンピュータもしくは PC] から CD ドライブ（DVD ドライブ）を選択してください。

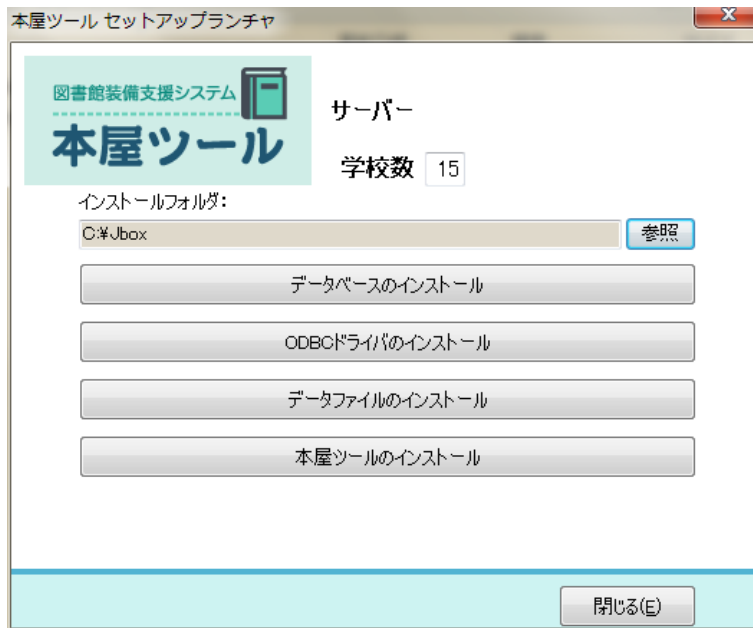
フォルダ「本屋ツールインストーラー」を開いて下さい。

フォルダ内の



をダブルクリックしてインストーラを起動してください。

次のようなメニューが現れます。



上から順に3つのインストール作業を行います（「データベースのインストール」と「ODBCドライバのインストール」は同時に2つ行われます）。

まず最初に、「学校数」の項目に、旧本屋ツールと同じ学校数を入力してください。

「データベースのインストール」をクリックするとデータベースのインストールが始まります。インストールフォルダは特別な理由がなければそのままにしてください。実行をクリックします。

インストール中はこの画面のまま数分かかります。

続いて「データファイルのインストール」と「本屋ツールのインストール」を行ってください。

インストールが終わったメニューは薄く表示されクリックできなくなります。

4つのインストールボタンすべての表示が薄く [〇〇のインストール済み] となればインストール作業終了です。

学校数が40校を越える場合

一校ごとに大きなデータベースを使用するために、およそ40校を越える場合、専用PCにてサーバ構築をしていただく必要があります。

具体的な要件などにつきましては、教育システムまでお問い合わせください。

参考：

1. 40校以上の場合は専用サーバを必要とします。

※推奨Linuxで教育システムにてセットアップ

2. 2台以上に分けてインストールする場合は全校コンバートして、それぞれ使用する学校のみ有効にします。

例) トータル70校(2市(A市39校 B市31校の場合))の場合

A市用端末 70校インストールし、A市以外の学校は無効に設定する

B市用端末 A市同様70校インストールし、B市以外の学校は無効に設定する

3. 2. の場合で100校を超える場合

インストーラで100校以上を設定するとインストールできない場合があります

その場合、コンバートがうまくいきませんので注意して下さい

旧本屋ツールからのデータコンバート

旧本屋ツールの「本屋 tool2004.mde」もしくは「本屋 tool2005.mde」と「rireki.mdb」を使用します。

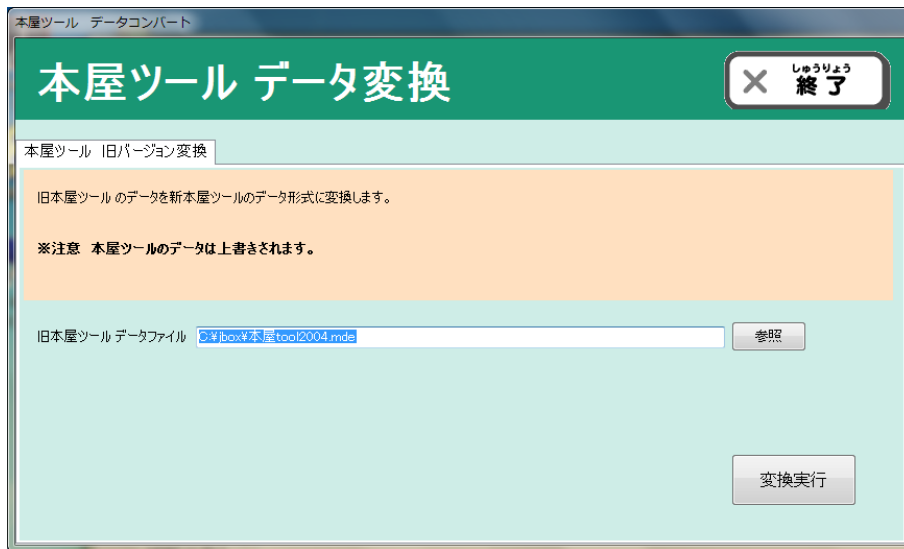
C:¥Jbox 内にある場合はそのまま利用できますが、インストール場所を変更している場合、

C:¥Jbox に旧本屋ツールフォルダ内のファイルをコピーしておいてください。

通常のインストールの場合、

C:¥Jbox¥JBoxV7¥bin

に、DataConvert.exe がありますのでダブルクリックで起動します。



自動的にデータファイル名が入っていない場合、[参照] をクリックし、本屋 tool2004.mde もしくは本屋 tool2005.mde を指定し、[変換実行] をクリックしてください。

新本屋ツールにデータがある場合は上書きされます。

インストールの確認

正常にインストールされるとコントロールパネルの [プログラムと機能] には一般的に以下の3項目が増えます。

- PostgreSQL 9.5
- PsqIODBC
- 本屋ツール

ソフトインストール後これらが表示されていない場合は正常にインストールできていません。多くの場合、OS のバージョンとセキュリティパッチの問題です。コンピュータの動作環境をよく確認してください。また、OS 自体の動作が不安定な PC での運用は不適です。

インストール後設定

ログイン画面

必ず教育システム発行の使用許諾証を準備して図書館コード、パスワードがわかるようにしておいて下さい。

本屋ツールを起動します。



デスクトップ上のアイコン をクリックするか

[スタートボタン] - [すべてのプログラム] - [本屋ツール] - [JBOX]をクリックすることで本屋ツールが起動します。

初回は学校設定が表示されます。


接続サーバーに関しては、スタンドアロン&サーバへのインストールの場合は空白のままで [接続確認] をクリックし、その後配布されております設定シートに記述された、図書館コードとパスワードを入力し、設定をクリックしてください。

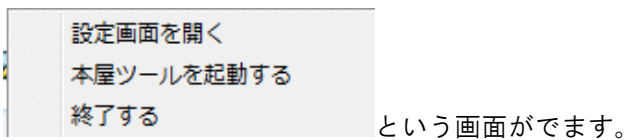
パスワードは大文字小文字を区別します。

追加端末にインストールする場合は、サーバ名の欄にデータベースプログラムをインストールした PC の [ホスト名] または [IP アドレス] を入力します。不明な場合は必ずネットワーク管理者に確認してください。

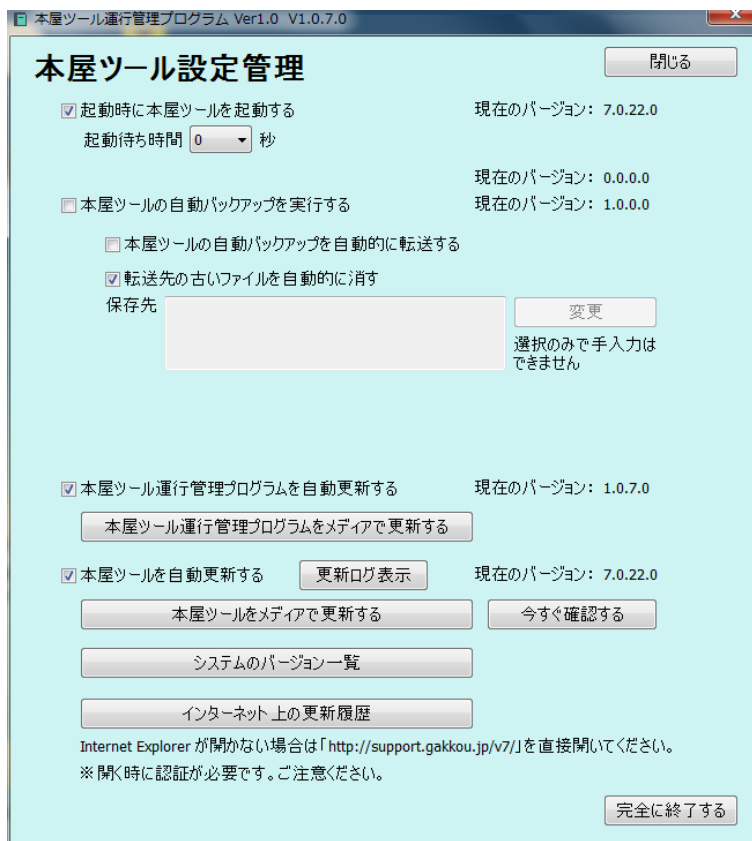
運行管理プログラム

運行管理プログラム（ランチャー）は本屋ツールのバージョンアップや自動起動設定、バックアップといった業務を制御するプログラムです。

タスクバーの右端の常駐プログラム一覧に  マークが現れます。これが本屋ツール運行管理プログラム（ランチャー）で、本屋ツールの運用を司ります。このマーク上でマウスを右クリックすると



設定画面は以下の通りです。



自動起動について

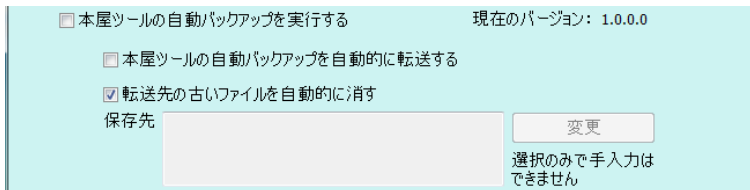
起動時に情報BOXを起動する にチェックを入れると OS のログオン時に本屋ツールが起動します。よく利用する場合はこの機能が便利です。自動起動させたくない場合はチェックを外してください。

学校数が多い場合は起動に時間がかかりますので、自動起動をさせないように設定してください。

起動待ち時間設定は、データベース起動前に本屋ツールが立ち上がってしまう場合、設定してください。

バックアップファイル自動転送について

本屋ツール起動時に自動的にバックアップを作成し、そのバックアップファイルを保存先に指定したフォルダに転送（コピー）する機能を持ちます。



本屋ツールの自動バックアップを実行する 現在のバージョン: 1.0.0.0
 本屋ツールの自動バックアップを自動的に転送する
 転送先の古いファイルを自動的に消す
 保存先 変更
選択のみで手入力はできません

PC 本体が故障した場合、ローカルドライブ（C または D）に転送（保存）してあっても、無意味です。一般的な保存先にはリムーバブルディスクやサーバのネットワークドライブを想定しております。

保存先の設定はエクスプローラーでの設定で行い UNC パスやドライブレターの直接入力できません。

また、認証済みのドライブへの保存ですから、予め ID PW で保存場所への書き込み権限があることを前提とします。

転送先の古いファイルを消すにチェックを入れると、以下のファイルを自動的に削除するので、そのドライブまたはメディアが一杯になることを防止できます。

※自動バックアップに関するご注意

この自動バックアップはあくまでトラブル時の復旧作業用の補助機能です。自動バックアップに失敗した際の対策は取られていません。各年度や学期での**手動バックアップ**は**必ず実施**して下さい。

自動バックアップのタイミングに関しては動作中に自動的に行われ、バックアップタイミングの調整はできません。また、自動バックアップは起動後に実行され、自動転送は 20 秒後に実行されます。

短時間 20 分以下の起動時間ではバックアップファイルの作成や自動転送は行われません。

ご注意ください。

バックアップファイルの自動転送ルール

バックアップファイルの自動転送はランチャー（本屋ツール運行管理プログラム）が常駐している場合にのみ動作します。定期的に保存先を監視して「今日作成したバックアップファイル」の転送を試みます。リムーバブルディスクを指定した場合は、必ずメディアにアクセスできる状態にしたままでお使い頂くことをお勧めします。またメディアを取り外す場合は、必ず「メディアの取り扱い説明書に指定された方法」で取り外してください。USB メモリ等でバックアップ処理を行っている最中に抜き取った場合は、USB メモリのデータを喪失させる場合があります。ご注意ください。

削除されるファイルのルール

削除はシステムが自動的に付けたファイルが対象です。

バックアップファイル名は「JboxV7R1_yyyymmddHHMMss.jpz7」となっており「yyymmdd」が年月日で 2016/4/1 であれば 20160401 の様になります。「HHMMss」は時刻で 24 時間表示になっています。

自動削除は、同じ月の直近 7 日以外のバックアップファイルが対象になり、8 日間分のバックアップファイルが保存されます。9 日目のバックアップファイルを作成時にその月の一番古いバックアップファイルが削除されます。

本屋ツールのアンインストール

PCの移動などにもなうアンインストールについては以下の手順でお願いいたします。

管理者権限を持つユーザー・アカウントでWindowsにログオンします。

コントロールパネルの「プログラムと機能」（Windows10の場合は「アプリと機能」）から、本屋ツールを選択し、アンインストールを行って下さい。

アンインストール後に、インストールフォルダが残る場合がございます。その場合は、手動にて、

C:\¥jbox

を必要に応じて削除してください。

本屋ツールの操作マニュアルについて

本屋ツールの操作マニュアルはインストールディスク内に電子マニュアルで同梱しております。

※PDF形式のファイルを見るには、AdobeのAdobe Readerが必要になります。Adobe Readerは、<https://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>

こちらからダウンロードして下さい。

※Adobe Readerは、米国Adobe社の登録商標です。

また、Webページからもダウンロードが可能です。マニュアルの最新版はWebでご確認下さい。

http://www.gakkou.jp/download/honya2017_manual.pdf

お問い合わせ先

こどもを、みらいを、考える。

株式会社 教育システム

〒453-0853 名古屋市中村区牛田通 1-21

Tel : 052-471-5219 Fax : 052-471-5471

E-Mail : ksinfo@gakkou.jp

URL : <http://www.gakkou.jp/>

サポート窓口 Tel 050-3533-3642

営業時間 9 : 00 ~ 18 : 00

土日 祝日 お盆期間及び年末年始は休業です。

営業日カレンダーは Web サイトでご確認ください。